

これまで16回の委員会を開催、事業の進捗状況等について執行部より報告がありました。

事業推進における課題と経緯

結 (1) 大学との連携協定締

- (2) 県施設の譲渡申請
- (3) 拠点整備と地域活性化との相乗効果の方法の模索
- (4) 施設整備のための財源確保
- (5) 施設整備後の施設運営体制の確立等

この課題をクリアするため、市長、両副市长、担当課が内閣府や県庁、鹿児島大学、地元選出の国会議員や県議会議員との意見交換を重ね、協議を進めてきたとの報告がありました。

本会期中に南九州畜

産獣医学拠点事業費8091万6000円の追加議案が提案されました。

9月22日の委員会では、執行部から9月18日に住民説明会を行い、当日は84名の参加があり、鹿児島大学から関係教授等8名が来られて参加者から次の質疑・意見があったのとと答弁がありました。

- (1) 事業がもたらす財部町の活性化について
- (2) 畜舎の臭気対策について
- (3) 事業を進めるためのプロジェクトチームの設置の提案
- (4) 学生や教員の宿舎について
- (5) 民間事業者の公募について

(1) 関連予算が出されたことは一歩も二歩も

前進である。
(2) 建設に係る財源は、補助金や有利な起債を調査・活用し、可能な限り市の負担を減らすこと。
(3) 運営は、関係機関と十分な連携を図るとともに、市の組織体制についても検討する必要がある。

まとめ

本委員会では、事業概要案やスケジュール案、関連予算等が計上され議論の俎上に載せられ、また、この事業がマスコミ等でも大きく取り上げられ、市民からは地域活性化の拠点になるとの声もありました。これにより一定の方向性が示されたことから、今後のスムーズな事業進捗を期待し報告します。

※P4上段参照

南九州畜産獣医学拠点事業の流れ

